



Beyond KUSS, 2022 !!



夏への準備

6月も残り1週間となりました。梅雨の蒸し暑い日が続いています。体調管理に気を配り、「第1志望」突破をめざし、学習に取り組んでいきましょう。

今年の夏季休業(夏休み)は7月22日(木)~8月31日(火)までの40日間。自分に必要な学習を進めることができるよう、準備しましょう。準備しなければならないのは、大きく2つ。1つは、「第1志望」突破に向けた各自の教科・科目の課題。これは、中間考査や共通テスト模試、授業のなかで見つけ出す必要があります。もう1つは、「第1志望」突破に向けた課題を解決するための教材。これは、すでに自分が取り組んでいる教材でもかまいません。課題解決のために適している教材か、見極めることができるかが要です。

費用と時間をいくらかけても実力が変わらないのは、これらのことができていないことが大半です。今の自分の学習を見つめ、夏への準備を進めていきましょう。

先輩たちの状況(その4)

◆◆◆ 私立大学一般選抜 ◆◆◆

右表は卒業生の出願パターンを示しています。7回生の特徴は私立等専願率が過去最低。その結果、延受験件数も過去最低です。しかし、国公立専願率は3回生より低いです。私大等(文部科学省所管外大学校,海外大,専門学校を含む)受験者は106名です。最終的に私大等進学者は43名。専願者18名,併願者25名。

国公立大学「第1志望」者のうち,私大等併願者は85名。25名が私大に進学し,20名弱が進学準備状態です。半数は「第1志望」に進学できていません。併願の目的を十分に達成しているとは,とても言えません。

本校が積極的に勧めることはありませんが,合格可能性の予想は,共通テストと二次試験の2つの試験で合否判定を行う国公立大学の方が,一発勝負の私大より,的中率は高いです。

次ページに7回生の主な私大の合否状況を示しています。当然ですが,「K値」が高いほど合格率は高いです。「K値」70を下回ると不合格者が合格者よりも多くなります。国公立大学第1志望者が私大を併願しても「K値」70を上回る成績でないと,「滑り止め」になっていないことがわかります。私立大学一般選抜は3教科以下の入試が大半です。8回生がめざす国公立大学は共通テストで5教科,二次試験でも3教科以上の入試が大半です。負担が少ない分,私立大学一般選抜の方が取り組みやすいと感じるかもしれません。しかし,必ずしもそうとは言えません。私立大学「第1志望」者が私立大学一般選抜を受験することは当然です。国公立大学「第1志望」者が私立大学一般選抜を受験することを本校では勧めていません。理由は次のとおりです。

		卒業数	受験数 (延数)	受験数 (人)	国公立専願		国公立私立併願		私立等専願		共計900 受験数	受験率
7 回 生	M	61	276	4.5	19	31.1	33	54.1	9	14.8	54	88.5
	F	74	400	5.4	10	13.5	52	70.3	12	16.2	65	87.8
	計	135	676	5.0	29	21.5	85	63.0	21	15.6	119	88.1
6 回 生	M	73	463	6.3	10	13.7	42	57.5	21	28.8	55	75.3
	F	87	432	5	9	10.3	43	49.4	35	40.2	52	59.8
	計	160	895	5.6	19	11.9	85	53.1	56	35.0	107	66.9
5 回 生	M	78	416	5.3	16	20.5	39	50.0	23	29.5	57	73.1
	F	96	512	5.3	13	13.5	49	51.0	34	35.4	51	53.1
	計	174	928	5.3	29	16.7	88	50.6	57	32.8	108	62.1
4 回 生	M	80	455	5.7	15	18.8	37	46.3	28	35.0	57	71.3
	F	80	449	5.6	10	12.5	32	40.0	38	47.5	44	55.0
	計	160	904	5.7	25	15.6	69	43.1	66	41.3	101	63.1
3 回 生	M	69	412	6.0	23	33.3	28	40.6	18	26.1	51	73.9
	F	66	339	5.1	7	10.6	34	51.5	24	36.4	41	62.1
	計	135	751	5.6	30	22.2	62	45.9	42	31.1	92	68.1
2 回 生	M	69	477	6.9	6	8.7	32	46.4	30	43.5	42	60.9
	F	68	440	6.5	4	5.9	25	36.8	40	58.8	31	45.6
	計	137	917	6.7	10	7.3	57	41.6	70	51.1	73	53.3
1 回 生	M	65	474	7.3	6	9.2	31	47.7	28	43.1	40	61.5
	F	77	535	6.9	2	2.6	41	53.2	34	44.2	41	53.2
	計	142	1009	7.1	8	5.6	72	50.7	62	43.7	81	57.0

<保護者の方々にも読んでいただきたいよう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について, SNS等 web へのアップや無断使用しないようお願いします。

- 1 「滑り止め」のために受験したとしても、相当程度の成績の人以外、目的達成が困難
- 2 国公立大学「第1志望」の二次試験に向けての学習に支障が発生。共通テストから二次試験までの期間は夏季休業(夏休み)に相当。全力で取り組む絶好の機会
- 3 過去のデータより、併願しても「第1志望」に進学できる可能性が半減

省略

右表は関西圏主要私大の過去6年間の一般選抜/特別選抜の入学状況です。今春入学者のデータはまだ公表されていませんが、同傾向と思われます。

関西圏難関私大でも40~60%が特別選抜による入学者です。学部単位でみると80%前後が特別選抜入学者の場合もあります。偏差値難易ランク表に掲載されている値は、一般選抜のみを対象にしています。一般選抜の偏差値難易度が高かったとしても、実際の入学者の状況は異なる場合があります。

一般選抜入学者	2015	2016	2017	2018	2019	2020
関西学院	3,327	3,332	3,346	3,351	3,361	3,361
関西	3,750	3,752	3,752	3,752	3,744	3,744
同志社	6,035	6,025	6,025	6,351	6,351	6,351
立命館	4,431	4,513	4,675	4,804	4,755	4,755
特別選抜入学者	2015	2016	2017	2018	2019	2020
関西学院	2,869	2,981	3,184	3,291	3,506	3,787
関西	2,898	2,956	3,061	3,197	3,299	3,308
同志社	2,719	2,709	2,635	2,849	2,981	2,990
立命館	2,784	2,736	2,849	2,895	2,907	2,992
特別選抜入学率	2015	2016	2017	2018	2019	2020
関西学院	51.0	48.5	51.9	58.6	63.4	65.4
関西	41.9	43.1	42.3	47.0	49.0	50.1
同志社	42.7	41.5	41.3	44.4	48.4	49.5
立命館	36.5	34.8	36.2	40.1	39.1	38.8

私立大学一般選抜を受験する場合、難易ランクだけで決めるのではなく、その大学が持つ特徴を十分に理解したうえで出願することは、併願の最低条件です。併願者の3分の1は「第1志望」でない併願校に進学しています。

漠然と私大併願を考えている人、「第1志望」突破に向けて覚悟が必要です。
体調管理に気を配り、自分にとって必要な学習に取り組みましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いします。